



同窓会報

専修大学北上福祉教育専門学校
同窓会事務局

〒024-8513 岩手県北上市鍛冶町一丁目3番地1
TEL (0197) 61-2131 FAX (0197) 61-2423

印刷：川嶋印刷株式会社



福祉介護科

保育科

専修大学北上福祉教育専門学校 保育科

ゆめのキラキラおんがくかい



会報発行に寄せて



同窓会長

佐藤 峰樹

常日頃から、関係各位のご協力に對しまして、心より御礼申し上げます。また、今年度も先生方や編集委員の皆様のご協力により『第15号』が発行できましたこと、改めて感謝いたします。

同窓会は、平成二十四年三月に新会員を迎え、一四名となり、現代の少子高齢社会を支える一翼を担っていると考えても過言ではない程、地域社会に貢献されている名実共に名高い専修学校と思えます。毎年多くの専門職を社会に送り出しているその背景には、日々努力されている教職員の皆様の御陰であると同時に、諸先輩方が日々現場で奮闘している成果であります。こうした歴史あるKTSを、我々同窓生で少しでも盛り上げてゆければと思う今日この頃です。

私は、高齢者福祉の現場に飛び込んで、早いもので十七年が過ぎ去りました。思い起こせば、措置の時代から介護保険への転換期など、多くの出来事があったという間に過ぎ去ってきたと感じております。しかし、制度や組織が変わっても、福祉を志した思いは何一つ変わらず、毎日の励みになっております。

最近よく、「人の尊厳とは何か」を深く考えるようになりまして。高齢者施設や障害者施設、保育所を利用する方々は、ほとんどの方が自らの手や思いで自身の尊厳を守ることができない方は多いです。こうした方々の考え方で、人を不幸にさせてしまふ可能性もあるということです。介護保険法の第一条に「尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう」とあります。介護を必要としている方々全ては、自らの尊厳が守られ自立した生活を営む権利があるということです。しかしながら、高齢者の孤独死や十分にサービスを利用できない方々が多くいることも現実です。こうした諸問題を解決することも必要ですが、根底にある人の尊厳を守ることが常に念頭に置いて、日々処遇してゆくことが我々の責務と言えらると思えます。

私達は、今後益々多様化するニーズに向けて、日々研鑽を重ね真面目に向き合う必要があります。平成二十四年四月から、介護保険制度改正及び報酬改定が行われますが、基礎となる理念や考え方は何一つ変わりなく、全ての方々が幸せを感じる日々を過ごせるようになる日を願っています。

最後に、いつも温かく接して下さる校長先生を始め諸先生方に感謝を申し上げ、そして母校の益々の発展と同窓会各員各位のご健勝をご祈念し結びと致します。